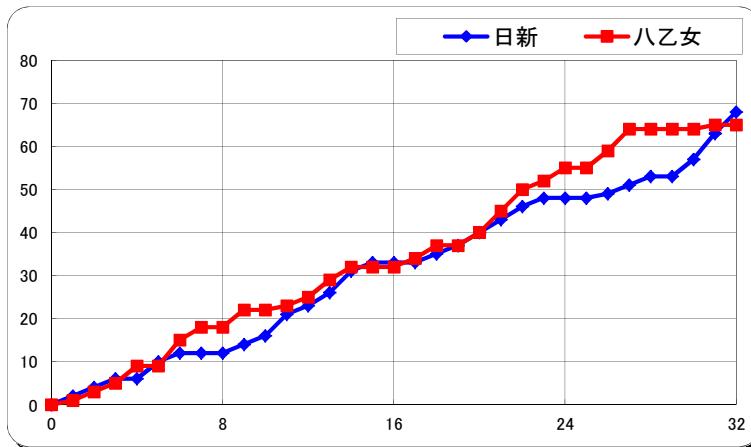




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																	
会場	さいたま市記念総合体育館																	
日時	平成24年8月22日(水) 10:50																	
コート	Dコート 第2試合																	
カテゴリー	女子 予選リーグ																	
主審	森元 隆之 (東京都)																	
副審	小森 葉子 (埼玉県)																	
Team A	Team B																	
日新	68	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>18</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>3rd</td><td>23</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>10</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	12	1st	18	21	2nd	14	15	3rd	23	20	4th	10	OT			八乙女
12	1st	18																
21	2nd	14																
15	3rd	23																
20	4th	10																
OT																		
(山口県)			(宮城県)															

【BOXスコア】

Team A		日新						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	藤永 望花	×	16	2	5	0	1	
5	山下 理帆	×	14	2	4	0	1	
6	和田 理希	×	4	0	2	0	5	
7	板谷 花菜	/	2	0	1	0	2	
8	村崎 光	DNP	0	0	0	0	0	
9	池田 涼香	×	16	4	1	2	1	
10	中村 桜花	×	12	0	5	2	2	
11	長谷川 杏樹	DNP	0	0	0	0	0	
12	和泉 沙也加	/	4	0	2	0	2	
13	進藤 吏花	DNP	0	0	0	0	0	
14	小山 純奈	DNP	0	0	0	0	0	
15	高橋 美晴	DNP	0	0	0	0	0	
16	花口 花麗	DNP	0	0	0	0	0	
17	西谷 晴夏	DNP	0	0	0	0	0	
18	村崎 恵	DNP	0	0	0	0	0	
監督	重田 稔							0
コーチ	友利 彩子							0
合 計		68	8	20	4	14		

Team B		八乙女						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	細貝 野乃花	×	37	7	7	2	5	
5	大泉 さくら	×	5	0	2	1	2	
6	山田 沙和	×	3	0	1	1	1	
7	伊藤 紗南	DNP	0	0	0	0	0	
8	黒坂 綾華	/	0	0	0	0	0	
9	渡辺 舞花	DNP	0	0	0	0	0	
10	鈴木 那巳	×	15	0	7	1	1	
11	飯野 優稀	×	5	0	2	1	0	
12	安田 琉香	DNP	0	0	0	0	0	
13	田中 真愛	DNP	0	0	0	0	0	
14	岡崎 奈菜	DNP	0	0	0	0	0	
15	富永 千穂	DNP	0	0	0	0	0	
16	高橋 綾佳	DNP	0	0	0	0	0	
17	櫻井 綾香	DNP	0	0	0	0	0	
18	熊谷 美穂	DNP	0	0	0	0	0	
監督	川田 容子							0
コーチ	吉岡 幸子							0
合 計		65	7	19	6	9		

【戦評】

中国ブロック代表日新(山口)と東北ブロック代表八乙女(宮城)の対戦。日新は2-3ゾーンDef、八乙女はオールコート2-2-1からハーフ2-1-2Defでスタート。日新#9のミドルシュートで先制。日新はマンツー、ゾーンを使い分け主導権を握ろうとするが、八乙女もDefを頑張り#4の連続3Pが決まり、日新12-18八乙女で1Q終了。2Q、日新は2-2-1ゾーンプレスで流れをつかみ同点に追いつくが、八乙女#10、#11が決め返し日新23-27八乙女となったところで日新がタイムアウト。その後、両チーム#4の3Pがよく決まり日新31-32八乙女で前半終了。

3Q、日新はオールコートマンツーマンのプレッシャーを強める。日新の#4、#10が得点するも八乙女#4が連続得点し流れを渡さない。日新が攻めあぐねる中、八乙女の速攻が決まり日新40-45八乙女となったところで日新タイムアウト。日新#9が3Pを決めるも、3Qに17得点の八乙女#4の活躍により日新48-55八乙女で3Q終了。4Q、日新は八乙女#4へのマークを厳しくするが、八乙女#5、#10の得点でリードを広げる。日新#12を投入しDefを頑張るが差が縮まらず、残り3分23秒でタイムアウト。その後、日新#6が退場するも#4、#9が踏ん張り残り1分40秒で5点差とする。残り1分9秒八乙女のタイムアウト後、八乙女のスローインミスで日新ボールとなり、#9の3Pで2点差に詰める。八乙女の攻撃となるも八乙女#4のオフェンスファールで退場となる。残り43秒八乙女のタイムアウト後、日新はうまくボールを運び#5が3Pを決めてついに逆転する。さらに#10のパスカットからレイアップで3点差となる。残り10秒、八乙女は#11が3Pを打つも決まらずタイムアップ。日新68-65八乙女で日新の逆転劇で幕を閉じた。

【戦評記入者】

浜田 雄史

埼玉県中学校体育連盟 バスケットボール専門部